

『未来志向』について

本校 3 学年では、キャリアデザインという授業を行っています。10 月からの 3 ル月間は『未来志向』というテーマで取り組んできました。内容はこれからどんな生き方をしたいのか、どんな人になりたいのかを考える時間です。とても漠然としているのですが、この時期の 3 年生は受験勉強に打ち込む生徒がいる一方で、進路が決まった人も多くいるため、今やらなきゃいけないことは何なのか、今だからできることは何なのかを考えてもらいます。最後まで頑張っている受験生を応援する空気や、残りの学校生活に積極的に取り組んで自分の可能性を広げようという意志などが出てくることを期待してスタートしました。

最初の 5 時間は将来に向けて自分の秘めた思いを行動に移していくために、様々な分野の講演会を企画し、多くの刺激を受けました。例えば、女性だけで立ち上げた地元企業の矢沢加工所(株)の真田秀志さん。何歳になっても男女問わず、地域に貢献し活躍する思いを受けることができました。また大町出身の落語家、柳家圭花さん。大学進学後研究職に就き、その後脱サラをして落語家になった自らの経験を通して、物事の考え方などを面白おかしく話して頂きました。初めて落語を聞く生徒も多く、楽しみながら学習することができました。

その後、4 時間ほどで各自の思いを、画用紙に『未来志向マップ』として作成しました。未来について考えるためにも、これまでの人生や学びを振り返ることから始めました。どんな困難に直面しどう乗り越えようとしたのかなど、エピソードを踏まえてまとめました。そんな各自が積み上げてきた経験から、過去→未来→現在の順で『未来志向マップ』を作成しました。

そして、12 月 23 日の 1 時間を使って、クラス内で発表をしました。予想以上に工夫された未来志向マップが作られていました。本当はあまり言いたくないような過去や未来のことを、みんなが勇気を持って堂々と発表していました。今まで知らなかったクラスメートの一面も知れるなど、温かい雰囲気で 1 時間が進んでいきました。それぞれペースは違っても前を向いているな、と感じました。生徒達がとても頼もしく映りました。この発表を見させてもらい、残りの高校生活も大丈夫だと確信しています。

3 学年キャリアデザイン担当教諭 能沢 博輝